

## 1 月 30 日 : VN 指数は小さい値動きの中、わずかに上昇 (VN-Index +0.34%)

- 2023 年第 4 四半期決算期を迎え、銘柄ごとにまばらな決算結果を受け、VN 指数は低調に取引を開始した。
- 銘柄間の優劣は特に銀行セクターで大きく確認され、一日を通して指数がほぼ横ばいで推移した原因となった。
- セクター別で見ると、支えとなっていた銀行が徐々に低下した一方、化学や小売に上昇銘柄がシフトしていった。
- 取引終盤に大型株が上昇したことにより、最後は指数が上昇して一日の取引を終了した。
- 上昇幅は回復し、266 銘柄が上昇、174 銘柄が下落、112 銘柄が変わらずとなった。
- 流動性はわずかに減少し、売買代金は 3.6%減の 13.7 兆ドンとなった。

### VN30 指数は狭いレンジで推移 (VN-30 +0.22%)

- 大型株で構成される VN30 指数は、14 銘柄が上昇し、12 銘柄が下落、4 銘柄が変わらずとなった。
- BCM (+5.15%)、GVR (+2.00%)、HDB (+2.10%)、MWG (+1.79%)、STB (+1.15%)など、比較的多数の主要銘柄の上昇が確認された。
- 対照的に、目立った下落は SAB (-1.21%) のみだった。

### セクター・個別株の動き

- MWG (+1.79%) は、食料品チェーンのバック・ホア・サンが 2023 年末、損益分岐点に到達すると発表された。これを受け、DGW (+1.10%)、PET (+1.18%)、FRT (+4.79%) といった小売セクター銘柄をリードしました。

- AST (+2.11%) は、2023 年第 4 四半期の収益が 2,890 億ドン（前年比 +34%）、純利益が 400 億ドン（同+58%）となり、新型コロナウイルス感染症後の回復をみせた。ただ、依然として新型コロナウイルス感染以前の水準には達していない。
- 外国人投資家は 1,210 億ドンを買い越しとなった。STB (+1.15%) と PC1 (+6.77%) が最も多く買い越された。一方、売り越しのトップとなったのは、VRE (+0.43%) と KDC (-0.32%) だった。

---

### ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Co., Ltd (JSI) から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。